

# 第2回コミュニティ／高齢者／障害者のための 新型コロナウイルス予防プログラム

Indonesia / インドネシア

Nandang Noor Rachmat. H ナンダン (23期)

サウダラ・セジワ財団



特別支援学校やコミュニティの子ども、障害者、高齢者を対象に、新型コロナ感染予防のための消毒活動、カウンセリング、動画やポスターによる啓発活動、食料・マスク・消毒剤等の緊急支援を実施する事業です。

## ナンダンさんの活動紹介

<専門分野> 地域開発

<日本での研修>

期	第23期(2006年3月来日)
研修先	くず葉学園(知的障害者更生施設) 光明会(知的障害者更生施設、他)
フォローアップ研修	期間:2012年5月26日~6月22日 研修先:興望館(保育所)、晴翔会(保育所)
	期間:2017年10月22日~11月19日 研修先:旭川荘(障害者施設)

※施設種別は当時のもの

<母国での福祉活動>

サウダラ・セジワ財団の主な活動は、地域開発と地域教育活動です。子ども保護センター、家族相談・学習センター、地域学習センター、緊急災害対策チーム、障害者プログラム等の機関やサービスがあります。子どもたち、女性、高齢者、障害者、そしてコミュニティのために、ボランティアと協働しながらさまざまな支援を行っています。これまで、本助成事業の支援により、幼児教育センター、コミュニティへの防災訓練、難民キャンプにおける児童のトラウマ回復といった事業も行いました。



地域のラジオで  
社会福祉について説明



障害児の親へ  
子育てについての講演



ボランティアへの指導

### 活動地の状況・課題

活動地バンドゥンが位置する西ジャワ州はインドネシアで2番目にコロナ感染者が多い地域です（申請当時）。子どもたち・高齢者・障害者は、感染予防に関する情報や利用できる医療保健サービスが十分ではありません。また、学校やコミュニティにおいても安全が保障されておらず、新型コロナウイルスは大きな脅威となります。



プログラムを実施するトレーナーへの研修

### 事業の目的

バンドゥンにおいて、公的な支援が行き届いていない子どもたち・高齢者・障害者を新型コロナウイルス感染から守ることがこの事業の目的です。

特別支援学校や住居等の施設の清掃と消毒、感染予防の正しい知識や物品の提供、オンラインによるさまざまな支援サービス等を行いました。

### 事業の成果

- 特別支援学校や住居の消毒作業により、コミュニティの子どもたち・高齢者・障害者が安心して施設を利用することができました。
- 感染予防対策に関するポスターを貼り、パンフレットを配布したことで、感染予防に対する意識の高まりが見られました。
- 政府からの支援を受けていない高齢者や障害者150名に、1か月分の食料・マスク・アルコール消毒剤を提供しました。
- カウンセリングを行う支援者への研修により、ストレス等の心理社会的問題を抱える人びとへの支援の強化につながりました。
- オンラインの活用により社会的な活動に参加できるようになりました。



心理社会的問題を抱えた家族へのグループ支援



コミュニティや保育園の子どもたちへのオンライン学習

## 実施経過

### 2021年4月 準備段階

- プロジェクトを実施するトレーナーへの研修
- 消毒を行うべき特別支援学校およびコミュニティについての調査
- 食料やマスクなどの支援物資を必要とする利用者の調査
- パンデミックにおける心理社会的支援を行うための専門研修



コロナの影響を受けた  
子どもたちのデータ収集・調査

### 2021年4～11月 実行段階

- 特別支援学校、コミュニティの建物や住居にアルコール消毒液を噴霧し、消毒を行いました。この作業は、研修を受けたチームが実施しました。
- 感染を予防しながら生活を送る方法について、パンフレットや動画を作成し、子どもたち・高齢者・障害者に配布・提供しました。興味を引くようなデザインや構成にし、子どもたちや障害者でも簡単に理解できるように工夫しました。
- 障害者に、食料・マスク・アルコール消毒剤を配布しました。
- 新型コロナウイルスによる心理社会的影響を受けた利用者のために、相談および支援サービスをオンラインで、対面の場合は感染予防対策を十分に講じながら行いました。
- 地域住民、子どもたち・高齢者・障害者のグループ向けに、ウェビナー、双方向の対話、トークショーなど社交的集まりの場をオンラインで設けました。



カウンセリングを行う  
トレーナーへの研修



コロナの影響を受けた  
障害者への食料と衛生用品の提供



子ども向けの感染予防対策の動画

### 毎月 プログラム評価

プログラムをスケジュール通りに進め、成果を確実なものにするために、振り返りと評価を毎月行いました。

## 今後の活動・展望

パンデミックはまだ収束していません。子どもたち・高齢者・障害者などの弱い立場にある人びとの保護と支援を継続していきます。

## 収支報告

全体事業額：394,940 円

助成額：389,705 円

## &lt;主な使途&gt;

- 消毒作業にかかる費用  
(トレーナーへの訓練にかかる会場費、食費、参加手当、防護用品)
- 政府の支援を受けていない障害者へ提供した食糧・マスク・アルコール消毒剤等

## &lt;収入&gt;

項目	金額(円)	内訳
全社協からの助成金	389,705	
自己資金	5,235	
合計	394,940	

## &lt;支出&gt;

項目	金額(円)	内訳
トレーナーへの訓練	49,980	会議室費 10,780 トレーナー謝礼 19,600 参加手当 11,760 食事代 4,900 訓練用品 2,940
プログラムの実施	344,960	感染防護用品 23,520 建物消毒用品 35,280 噴霧作業チーム手当 36,260 リーフレット 19,600 衛生用品 117,600 食料支援 73,500 交通費 24,500 文書作成費 14,700
合計	394,940	

注) インドネシアルピア (IDR) で提出された報告をもとに日本円に換算して表記  
換算レート：1 インドネシアルピア ≒ 0.0098 (送金日 (2021年4月30日) の為替レート)

事業の様子を  
収めた動画は  
コチラから



# Indonesia

## インドネシア共和国 基本情報



面積 <sup>※1</sup>	約 191 万km <sup>2</sup> (2020 年) 日本の約 5 倍
人口 <sup>※1</sup>	2 億 7,352 万人 ((2020 年)
人口密度 <sup>※1</sup>	141 人/km <sup>2</sup> (2020 年)
主要民族 <sup>※2</sup>	大半がマレー系 (ジャワ、スダ等約 300 種族)
主要言語 <sup>※2</sup>	インドネシア語
主要宗教 <sup>※2</sup>	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87% (プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50% (2016 年、宗教省統計)
政治体制 <sup>※2</sup>	大統領制、共和制
1人あたりの国民総所得 <sup>※1</sup>	3,985 米ドル (2019 年)
通貨 <sup>※1</sup> (1米ドル = 109.010 円換算)	1 米ドル = 14,582.2 ルピア (2020 年平均) 100 円 = 13,657.6 ルピア
平均寿命 <sup>※1</sup>	男 69 歳、女 73 歳 (2019 年)
65 歳以上人口割合 <sup>※3</sup>	6.51% (2021 年)
合計特殊出生率 <sup>※4</sup>	2.27 (2020 年)

※1 統計局 世界の統計 2022 <https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>

※2 外務省 HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/indonesia/index.html>

※3 World Bank Population ages 65 and above (% of total population) - Indonesia  
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.65UP.TO.ZS?locations=ID>

※4 World Bank Fertility rate, total (births per woman) - Indonesia  
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.DYN.TFRT.IN?locations=ID>